

エコロジーパークこまつ

最終処分場
 再利用や再資源化が難しいごみや焼却灰を埋め立てます。

一般受入所
 (ストックヤード)

リサイクルセンター
 資源物を回収して中間処理を行う施設。個別に持ち込むごみもストックヤードに運び、各自分別します。

クリーンセンター
 家庭などから出た燃えるごみを焼却する施設です。1日に110トンのごみを燃やすことができます。

計量・料金所

旧焼却施設

行き
 帰り

エコロジーパークこまつ

所在地 大野町 ☎41・1600

持ち込み時間 8時30分～16時30分

休業日 日曜日、8月15日、16日、12月31日～1月3日

クリーンセンター、リサイクルセンター、最終処分場からなる「エコロジーパークこまつ」。公設民営となり、市と委託業者で連携しながら循環型社会の形成や、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいきます。

クリーンセンター始動に伴う 手数料の変更

ごみの量に応じた分かりやすい手数料に変わります。デジタル機器導入でスピーディーに受け付けできるとともに、クレジットカードや電子マネーでの支払いにも対応します。

【車両制】
 車種による料金



【従量制】
 ごみ量に応じた料金
 10kg：100円



▼コンピューターで各設備の運転を24時間管理。運転データや各機器の状況を的確に把握します。



中央
 制御室

安全に機械が動いているか、モニターで確認しているよ。

焼却炉



蒸気
 タービン
 発電機

お母さん
 の感想

普段からコンポストを使用したり、子供たちと一緒に古紙の分別に取り組んだりしています。新しいクリーンセンターは、発電をして施設の電力を賄い、更に売電して市の収入になるなんて画期的ですね。



プラット
 ホーム



▲収集車で集められたごみが搬入されます。とびらの向こうはごみビットです。

クリーン
 センターって
 どんな
 ところ？

UFO
 キャッチャー
 みたい☆



ごみ
 ビット

▲ごみビットには580トン(約1週間分)のごみをためることができます。ごみはクレーンで焼却炉入口の投入ホッパに運びます。



◀各設備のしくみをパネルで分かりやすく紹介。

▶
 新しいクリーンセンターを見学した東さんと谷口さん親子。

**焼却熱エネルギーで
 発電する「創エネ」施設**

約3年かけて建設工事を行ってきたエコロジーパークこまつ・クリーンセンターが完成しました。

クリーンセンターでは、最先端システムにより焼却時の有害物質の発生を抑制し、更に排ガス中の有害物質を取り除く処理を行います。

また、焼却で発生した熱エネルギーを回収して蒸気をつくって発電し、その電力でパーク内の使用電力を賄うほか、

エコロジーパークの負担軽減(年間見込み)

発電による 効果 約1億円	+	民間委託に よる効果 約6千万円	=	市民の 負担軽減 約1億6千万円
---------------------	---	------------------------	---	------------------------

**子供たちの
 環境学習の場**

クリーンセンターやリサイクルセンターでは、家庭から出たごみの処理の流れや、分別したごみを資源化する様子を見学でき、地球温暖化や廃棄物について身近に学ぶことができます。次世代を担う子供たちに、環境の大切さを伝えます。

余った電力は売却します。小松市のごみ処理費は年間約11億円ですが、この発電などにより約1億6千万円の市民負担を低減することができます。

再生可能エネルギーを効率よく使い、環境への負担を抑えます。

問い合わせ

エコロジー推進課 ☎24・8069

エネルギー供給と環境学習の拠点として、環境美化センターが「エコロジーパークこまつ」に変わり、新しいごみ焼却施設「クリーンセンター」が7月からスタートします。環境に配慮した施設の概要や、市民の皆さんと取り組む循環型社会づくりについて紹介します。

地球にやさしい「スマートシティ」の実現へ 特集 エコロジーパークこまつ クリーンセンター始動



毎日の生活の中でごみは必ず出てしまいますが、心掛け次第で減らすことができます。

豊かな地球環境を未来の子供たちへ残していくために、皆さんで取り組んでほしい、ごみ減量に役立つ情報を集めました。

今日から取り組もう

ごみダイエット事典



台所から出る野菜のくずや食べ物の残りなどの生ごみを減らすには「3キリ」が効果的。「買った食材を使い切る、調理したものは食べ切る、ごみとして出す前に水を切る」を実践すれば、ごみ減量や食品ロス削減につながります。水切りネットを使うことで、ごみの水分をカットできるほか、悪臭予防にもなります。

使いキリ、食べキリ、水キリの「3キリ」は生ごみ減量化の基本である。



各家庭から出される可燃ごみの中にたくさんのお古紙が混ざっており、せっかくの資源が焼却処理されています。封筒やティッシュ・お菓子の箱など、名刺サイズ以上の紙はリサイクルできます。紙袋に紙類を集めてひも掛けし、資源ごみ（古紙等）に出せば、再生紙として生まれ変わります。

目安は名刺サイズから。紙は、分別してまとめて出せば資源になる。



ごみの出し方・分別方法をパソコンやスマートフォンなどのインターネットで簡単に調べることができます。市ホームページの「ごみ分別辞典」をクリックするか、「ごみサク小松市」で検索してください。捨てたいごみの名称などキーワードを入力すると、ごみの種類や詳細が表示されます。ぜひ活用ください。

これって何ごみ？ こんなときはごみ分別辞典「ごみサク」が便利。



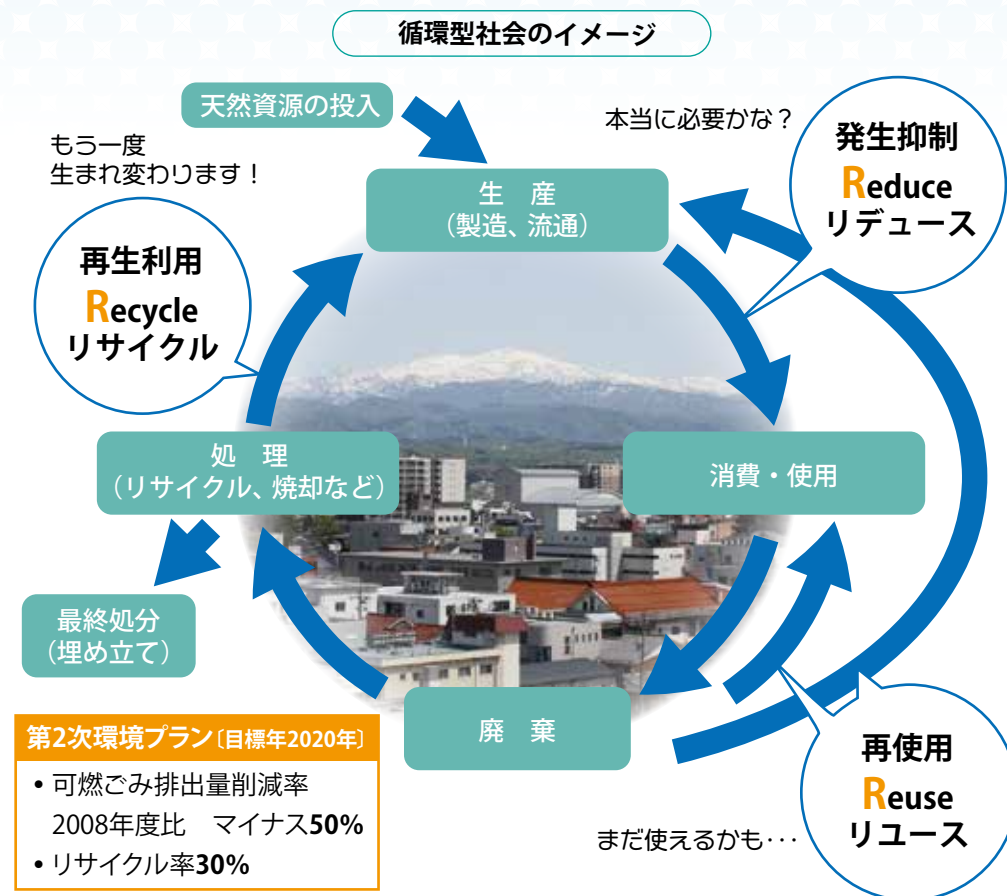
草や落ち葉は可燃ごみとして出された後、燃やされてしましますが、皆さんの家庭や町内会で、草や落ち葉を堆肥化して土に返すこともできます。市では町内会などに堆肥枠を貸し出しているほか、個人でコンポストを購入した場合に助成する制度があります。

草や落ち葉は、堆肥としてリサイクルできる。

市民共創での取り組みに感謝

町内会や環境パートナーシップなどの環境関係団体、市民の皆さんには、日頃からごみ減量や分別、集積場の管理などに取り組んでいただきありがとうございます。皆さんの市民力・地域力により、平成29年度は基準年の平成20年度と比べて、可燃ごみの量を20%削減できました。これからもごみ減量化やリサイクル推進にご理解とご協力をお願いします。

3Rの実践で、スマートな暮らしを始めよう。



第2次環境プランに基づき、市民の皆さんや事業者、行政が連携し、限りある資源の消費を抑えるとともに、CO2の排出量を削減し、環境への負荷をできる限り低減する「循環型社会」の実現に向けて取り組んでいます。一人ひとりがリデュース（ごみを減らす）、リユース（再利用する）、リサイクル（再資源化する）の3R（スリーアール）を実践しましょう。

みんなでつくろう 循環型社会

めざせ！スマートリサイクル33% 古紙・古着の「リサイクルステーション」

一度に大量に紙ごみが出たときや、毎月の紙収集日に出し忘れた場合などにご利用ください。持ち込みは無料です。

1号店	サービスセンターあしだ内 (芦田町) 月～土曜日 (祝日を含む) 8時30分～16時30分 回収品目／古紙等、廃食油、古着
2号店	小松サン・アビリティーズ前 (符津町) 月～土曜日 9時～17時 (月曜日の祝日は休み) 回収品目／古紙等、古着
3号店	松陽地区体育館 (大領町) 月～土曜日 (祝日を含む) 9時～17時 回収品目／古紙等、古着
4号店	国府地区体育館駐車場 (河田町) 火～金曜日：9時～16時、土・日曜日：9時～12時 (月曜日、祝日は休み) 回収品目／古紙等、古着

※8月13日～8月16日、12月29日～1月3日はお休みです。
※古紙等は、新聞、雑誌類、ダンボール、紙バックです。
※古紙は種類ごとにひも掛けし、古着は袋に入れて出してください。

民間
21カ所

民間のリサイクルステーションも ご活用ください

市内のスーパーや量販店にも古紙等の回収ボックスを設けている箇所があります。
※各店舗のルールやマナーを守りましょう。

